

平成28年度 村上市国語部 活動報告

部長 高橋 真徳（村上市立保内小学校）

1 研究主題

児童の意欲を引き出す指導の在り方

2 研究の概要

昨年度は同じ研究主題のもと、「授業のユニバーサルデザイン」について研修を深めた。今年度は、文部科学省の「論点整理」の中で示されているアクティブ・ラーニングについて、国語科を通して研究に取り組むことにした。前半の研修では、講師を招いて研修会を開き、アクティブ・ラーニングの概念について理解を深めた。その後、会員全員がアクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業を実践し、実践シートを作成した。後半の研修では、その実践シートを使って、会員同士で意見交換を行い、授業レベルでアクティブ・ラーニングについて理解を深めることができた。

3 研究の実際

(1) 第1回研修会

- ① 期日 平成28年8月19日(金)
- ② 会場 村上市民ふれあいセンター
- ③ 内容 講師 長谷川 等 様(村上市立さんぽく南小学校 校長)
 - ア アクティブ・ラーニングについての講義
 - イ 俳句を題材にした教員対象の模擬授業

(2) 第2回研修会

- ① 期日 平成28年11月29日(火)
- ② 会場 村上市生涯学習センター
- ③ 内容 会員が作成した実践シートに基づいた研修
 - ア 実践シートに基づいた意見交換
 - イ ピラミッドチャートを使った話し合い
 - ウ 全体での発表



4 成果と課題

(1) 成果

第1回研修会では、長谷川様より「学習者がアクティブ・ラーナーになっていなければならないこと」「学習者に学びの深まりを実感させなければならないこと」「実生活につながるような単元のゴールを設定すること」など、アクティブ・ラーニングの概念についてご指導をいただいた。第2回研修会では、第1回研修会を受けた授業実践を持ち寄り、「児童にとって魅力ある課題を設定すること」「互いの考えのズレに触れさせるようなペア・グループ学習を設定すること」など、具体的な授業の手立てについて、意見を共有することができた。アクティブ・ラーニングを支える思考ツールの1つであるピラミッドチャートを使った話し合いも有意義であった。

(2) 課題

アクティブ・ラーニングの概念を取り入れた国語科授業とはいかなるものか、さらに授業実践を重ね、その一つ一つの手立てについての有効性を明らかにしていく必要がある。また、授業の中で、児童をどのように評価していくのかも検討していく必要がある。